

課題整理総括表

利用者名 青木 すず 様

自立した日常生活の 阻害要因 (心身の状態、環境等)		①アルツハイマー型認知症				②身体機能の低下			③夫の身体機能低下			
		④長女の就労				⑤外出機会の減少			⑥			
状況の事実 ※1		現在 ※2				要因※3	改善/維持の可能性※4			備考(状況・支援内容等)		
移動	室内移動	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化	・迷子、転倒の不安あり、家族が付き添う。		
	屋外移動	自立	見守り	一部介助	全介助	①②	改善	維持	悪化			
食事	食事内容		支障なし	支障あり			改善	維持	悪化	・もっと任せてほしいと思っているが、失敗があり夫が行っている		
	食事摂取	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
	調理	自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化			
排泄	排尿・排便		支障なし	支障あり			改善	維持	悪化	・パッド使用し、自己管理。		
	排泄動作	自立	見守り	一部介助	全介助		改善	維持	悪化			
口腔	口腔衛生		支障なし	支障あり			改善	維持	悪化	・声掛けがあれば自分で行える		
	口腔ケア	自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化			
服薬		自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化	・飲み忘れるため、夫が管理。		
入浴		自立	見守り	一部介助	全介助	①②	改善	維持	悪化	・入浴せず、シャワー浴のみ。		
更衣		自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化	・服の着方を忘れる。		
掃除		自立	見守り	一部介助	全介助	①②	改善	維持	悪化	・掃除を何度も繰り返している		
洗濯		自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化	・洗剤の入れ忘れ、二度洗いがある。		
整理・物品の管理		自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化	・夫が管理。		
金銭管理		自立	見守り	一部介助	全介助	①	改善	維持	悪化			
買物		自立	見守り	一部介助	全介助	①②	改善	維持	悪化	・長女か夫の車で共に行く。		
コミュニケーション能力			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化	・ほとんど外出しない、近所の人との会話はある		
認知			支障なし	支障あり	①	改善	維持	悪化				
社会との関わり			支障なし	支障あり	①②⑤	改善	維持	悪化				
褥瘡・皮膚の問題			支障なし	支障あり			改善	維持	悪化	・夫の腰痛が年々強くなっている。		
行動・心理症状(BPSD)			支障なし	支障あり	①	改善	維持	悪化				
介護力(家族関係含む)			支障なし	支障あり	③④	改善	維持	悪化				
居住環境			支障なし	支障あり		改善	維持	悪化				
							改善	維持	悪化			

※1 本書式は総括表でありアセスメントツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。
 ※2 介護支援専門員が収集した客観的事実を記載する。選択肢に○印を記入。
 ※3 現在の状況が「自立」あるいは「支障なし」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断として選択肢に○印を記入する。

演習③(参考例)

利用者及び家族の 生活に対する意向		本人:家事をしたり、地域活動にまた復帰したい。 家族:お友達との交流が増えるといい。夫の介護負担を減らしたい。
見 通 し ※5	生活全般の解決すべき課題 (ニーズ)【案】	※6
・記憶や見当識の低下や実行能力の低下がみられ、調理や掃除などに支障を来している。声かけなどで本人ができることも多いため、家事などを一緒に続けいくことで、本人の活動性を高め、認知機能の低下を予防することだけでなく、夫の介護負担軽減にも繋がる。	夫婦で家事を行うことができる。	1
・本人も以前のように地域活動への参加を希望している一方で、町内会や老人会などへの参加、散歩や外出の機会は少なくなっていて、歩行への不安もみられている。低下がみられる下肢筋力などの運動機能が向上することで、移動能力が向上し、地域活動への復帰を検討することができる。	町内会や老人会など地域の人との交流を続けたい。	2
・夫と分担している家事がうまくいかずやり直すなど負担が大きくなっている。夫自身も身体機能の低下がみられるため改善に向けた支援が必要と思われる。夫の受診する時間を作ったり、レスパイトの時間をつくることで、介護の負担感を減らすことができる(交流を通じた認知機能への働きかけと、入浴の対応も共に検討)。	夫の介護負担を減らすことができる。	3
・シャワー浴をしているが、一人でやっているため、洗い残しなどがないか確認できない。着替えも声かけが必要となっていることから、適切な見守りや声かけの中で、できるだけ自分で不安がなく入浴などにより清潔が保たれる。	身体はいつもさっぱりしたい。	4

※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための援助内容と、それが提供されることによって見込まれる事後の状況(目標)を記載する。
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。